

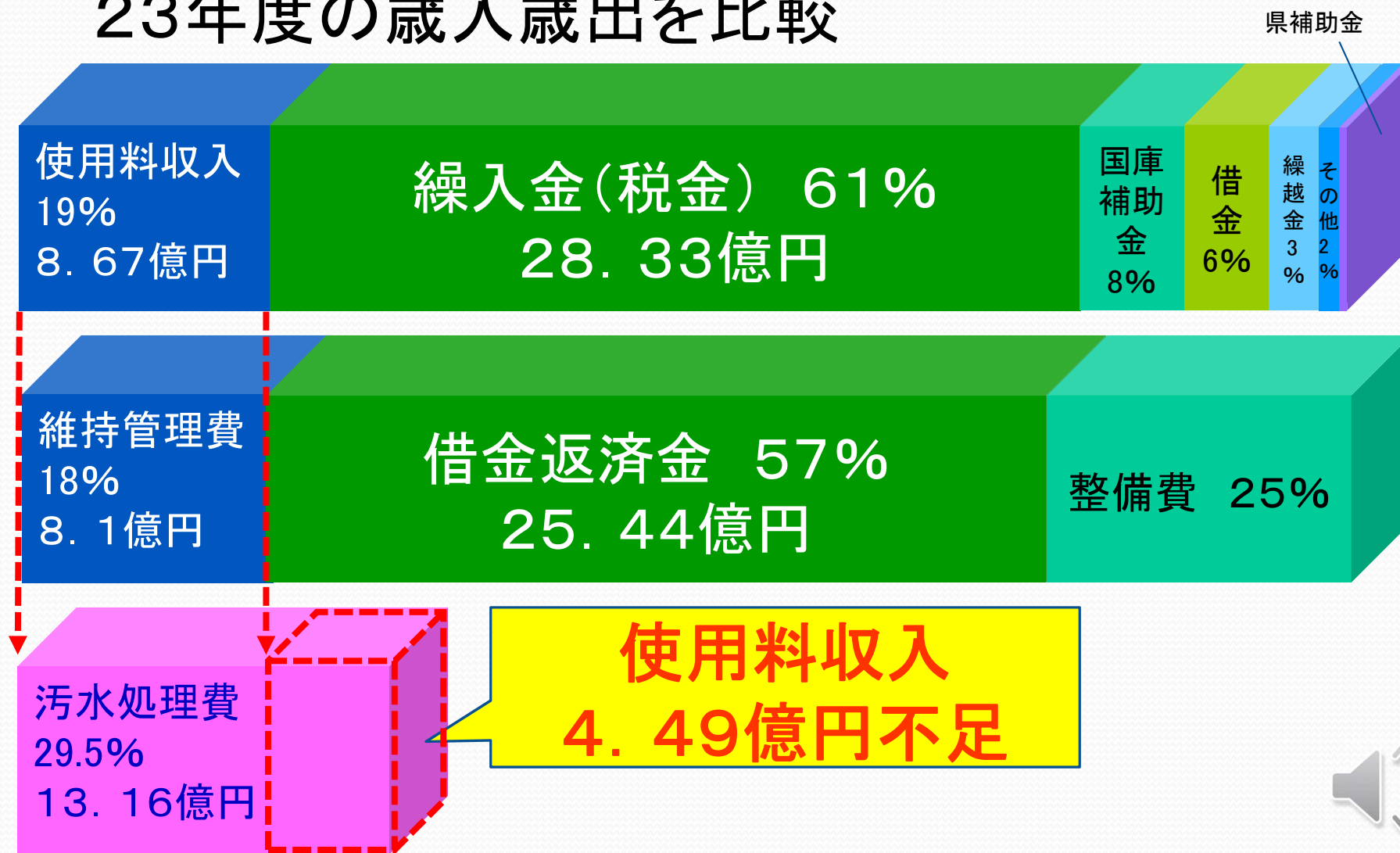
増収に向けて

事務局からの提案



経営の課題

23年度の歳入歳出を比較



収入増と歳出減への提案

1. 料金改定 ⇒ 月千円UPで年間1億9千万円増収
2. 「定額制」の廃止 ⇒ 年間約4千3百万円増収
3. 区域外流入工事費の市費負担制度の廃止
⇒ 年間約3百万円歳出削減
4. 井戸メーター等の設置費の使用者負担
⇒ 年間約7百万円歳出削減



収入増と歳出減への提案

5. 井戸水等使用者の「定額制」を導入

⇒ メーター新設費用の回避

6. 受益者負担金一括納付報奨金制度の廃止

⇒ 年間約9百70万円増収

7. 水洗化資金融資あっせん利子補給制度の廃止

⇒ 年間約50万円歳出削減



収入増と歳出減への提案

8. 排水設備指定工事店の指定申請の有料化

⇒ 5年ごとに約200万円増収

9. 排水設備台帳の有料化

⇒ 年間約4万円増収

10. 排水設備完成検査の有料化

⇒ 年間約20万円



事務局案

2. 定額制の廃止

従量制

井戸水等を下水に流している場合は、水量を加算

1か月あたり

基本料金 10m³まで 1,995円



水量料金 11～20m³まで 157.5円

(1m³ごと) 21～50m³まで 168円

51～100m³まで 210円

101m³以上 241.5円

定額制

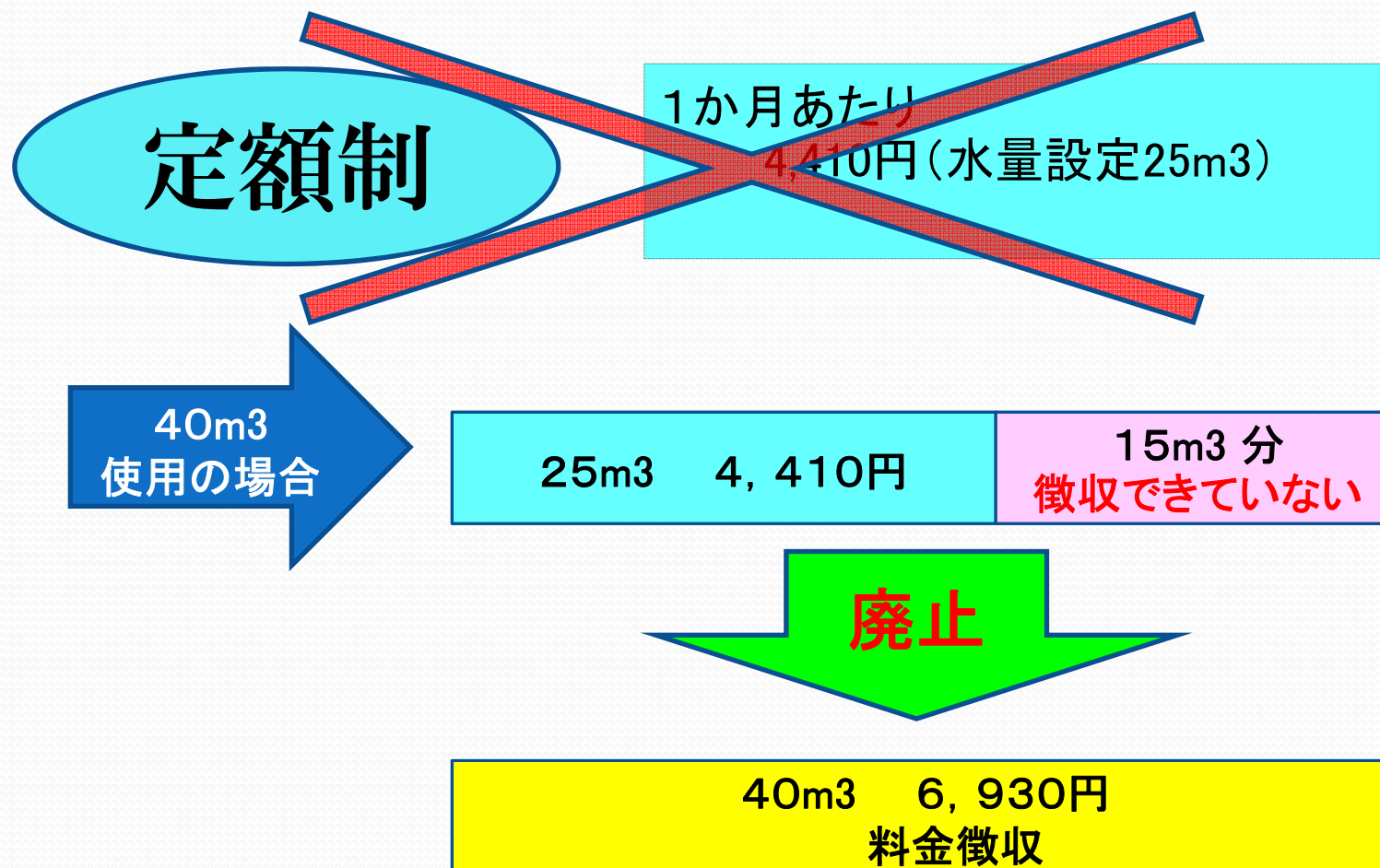
1か月あたり

4,410円(水量設定25m³)



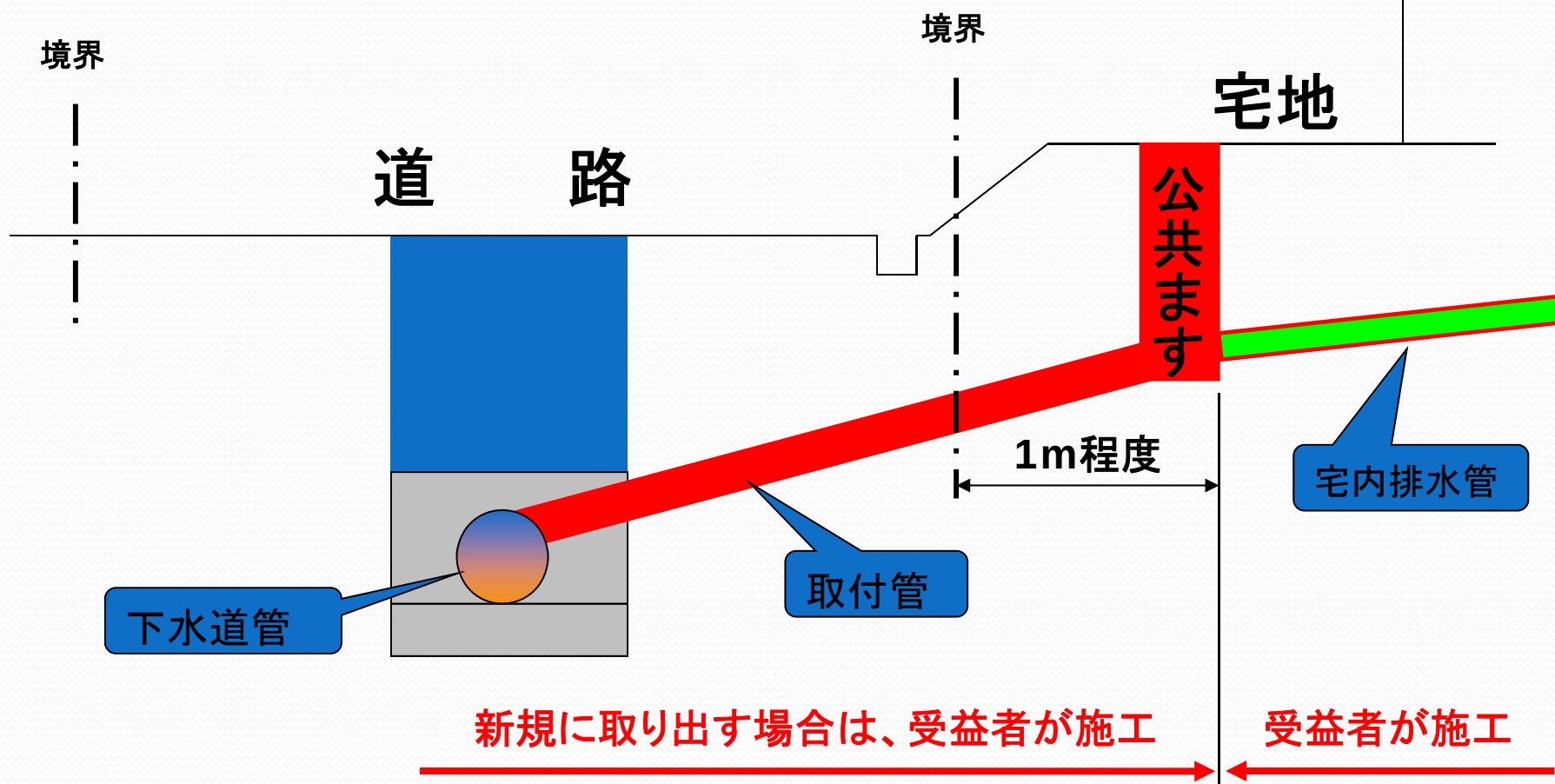
事務局案

2. 定額制の廃止



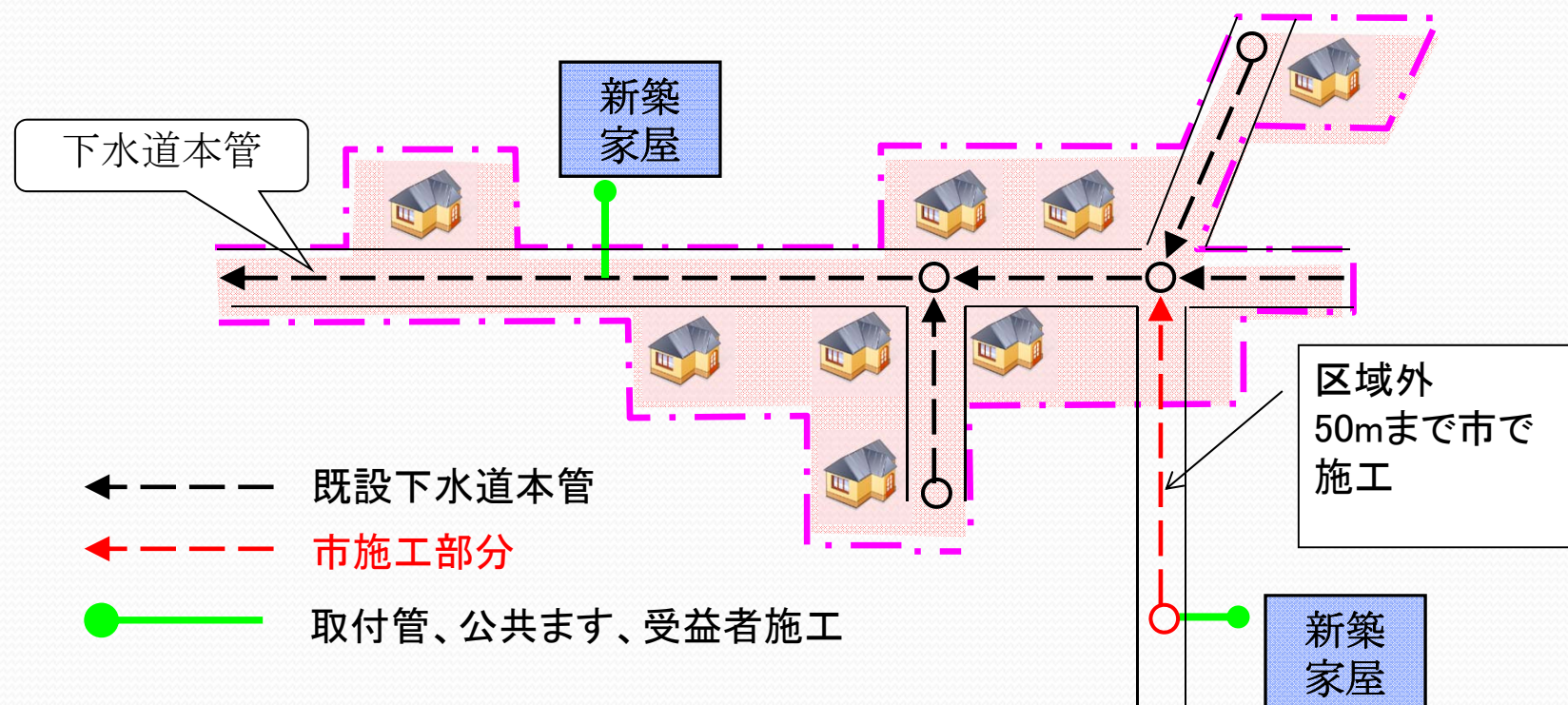
事務局案

3. 区域外流入工事費の市費負担制度の廃止



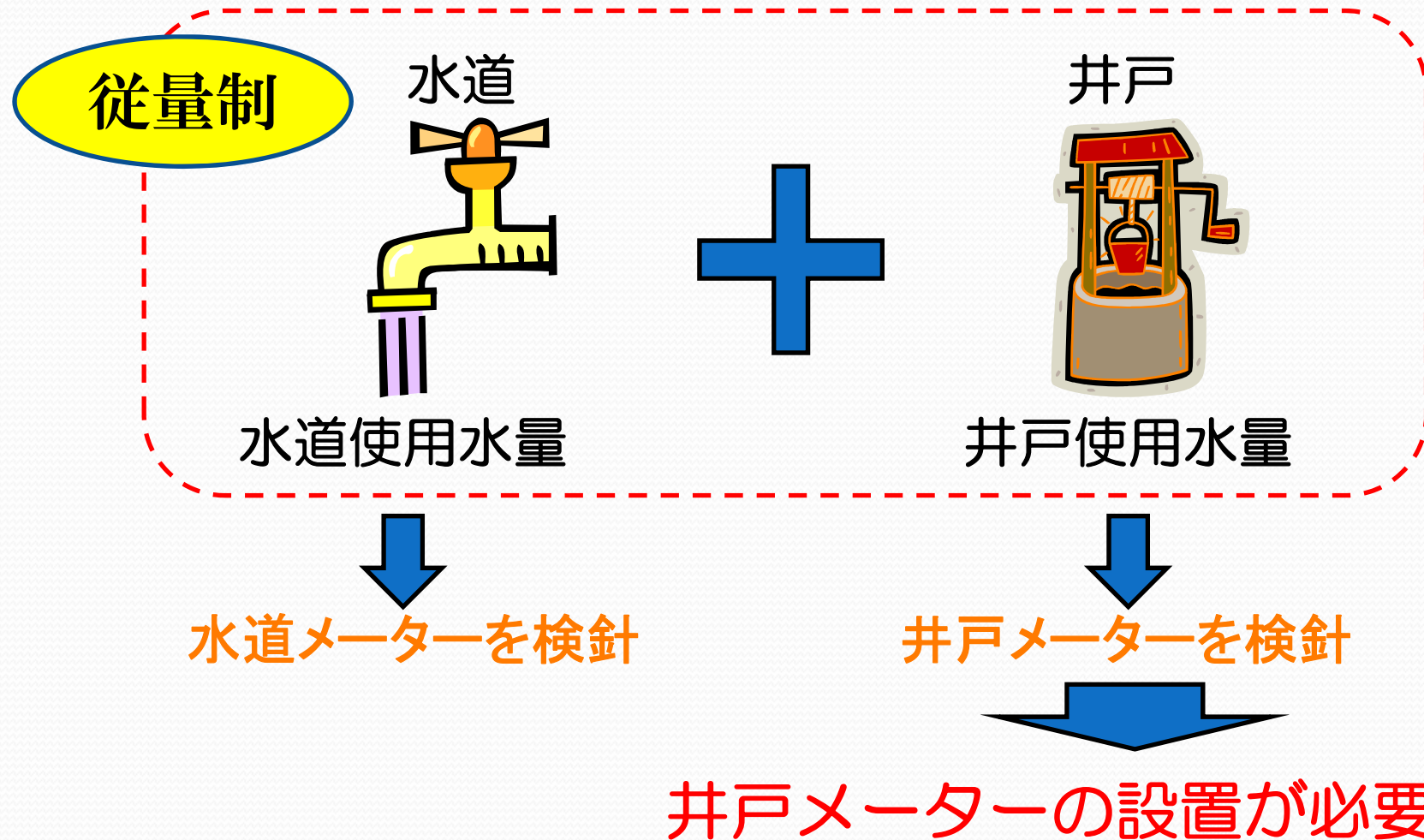
事務局案

3. 区域外流入工事費の市費負担制度の廃止



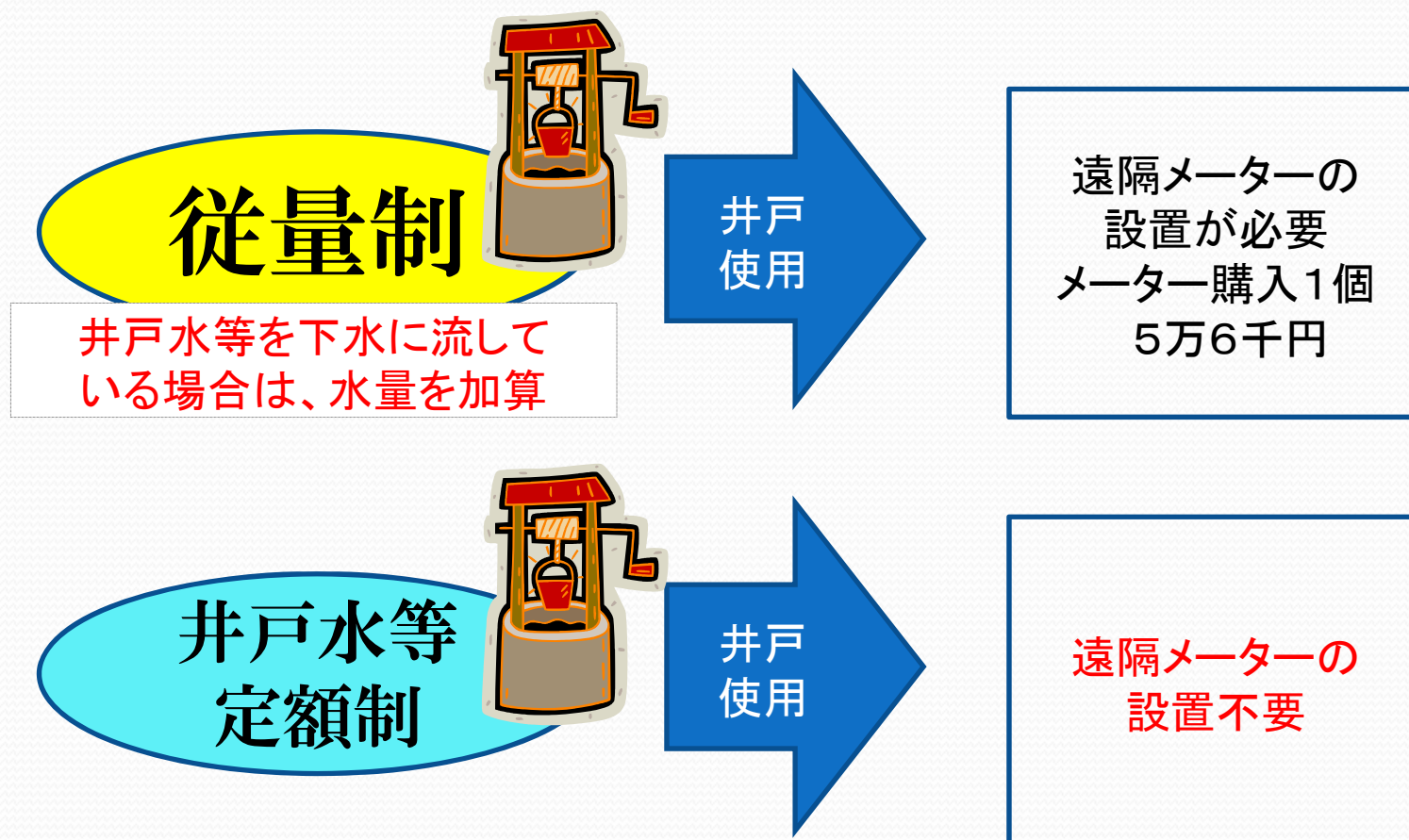
事務局案

4. 井戸メーターの設置費を使用者負担にする



事務局案

5. 井戸等使用者の定額制を導入する



事務局案

6. 受益者負担金一括納付報奨金制度の廃止

下水道へ接続できるようになった建物の所有者

受益者負担金 30万円

分割

年4回×5年間＝20回払い
1万5千円×20回＝30万円

一括

~~30万円×13.5%OFF
25万9千5百円~~



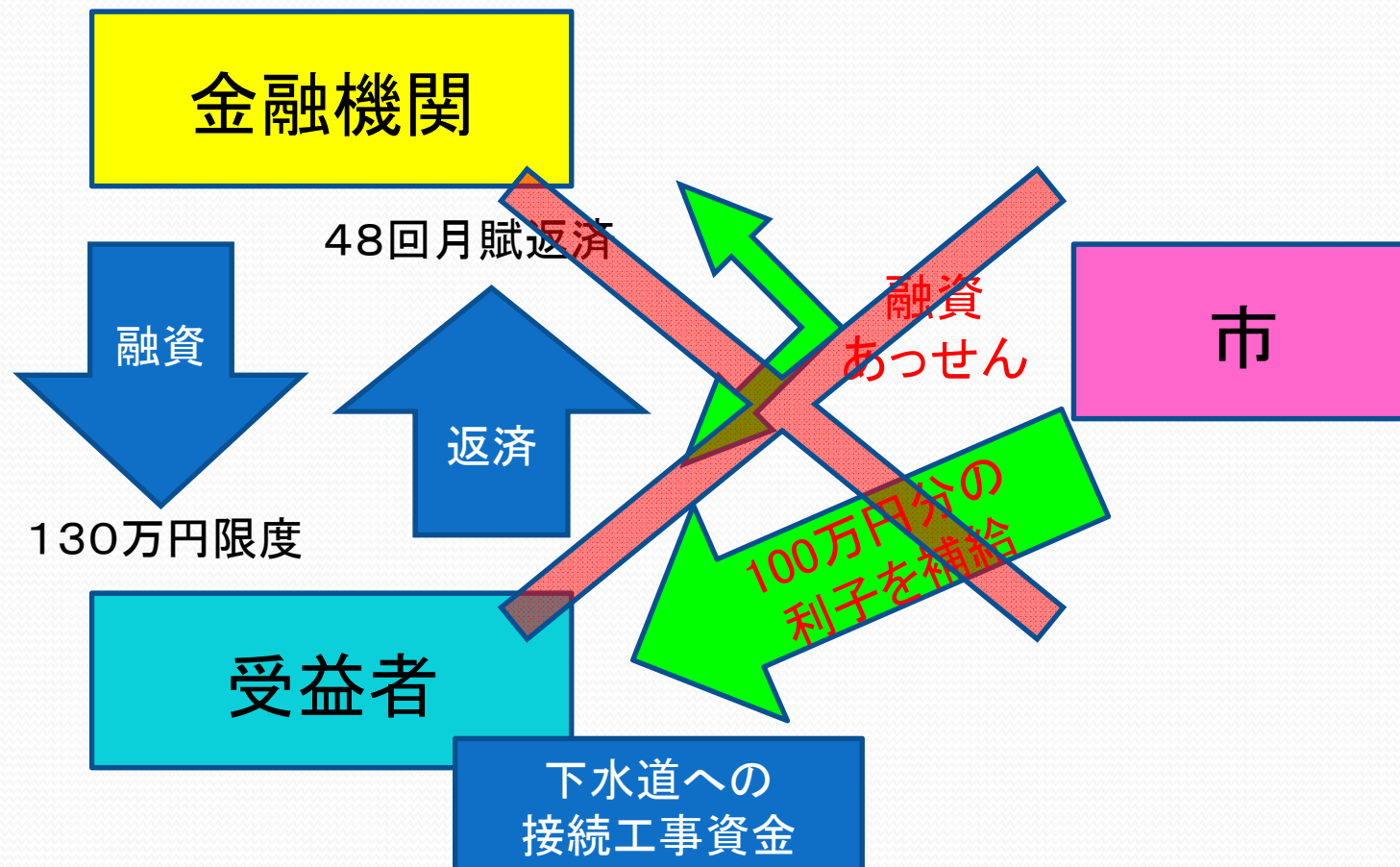
公共ます

下水道管



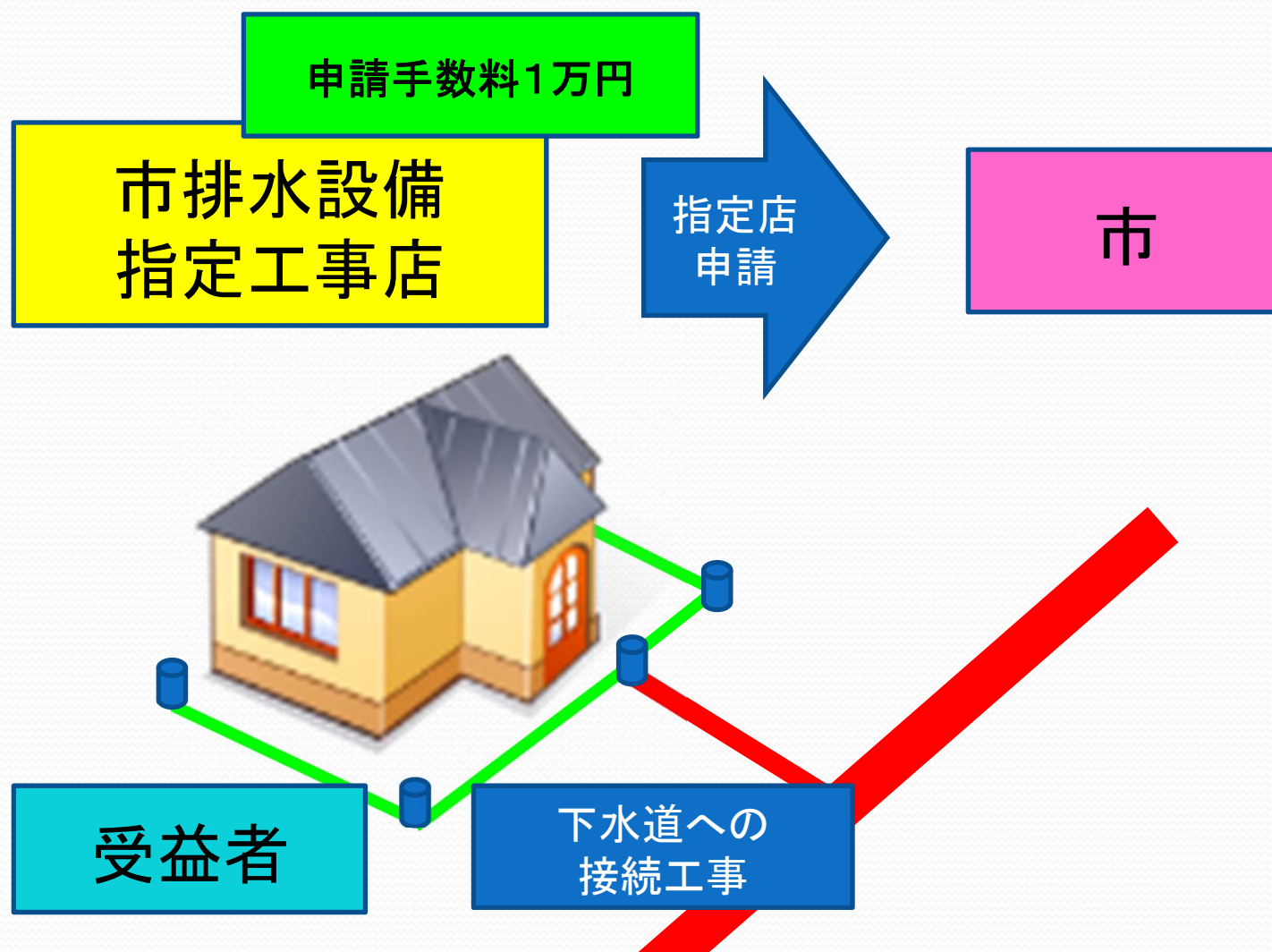
事務局案

7. 水洗化資金融資あっせん利子補給制度の廃止



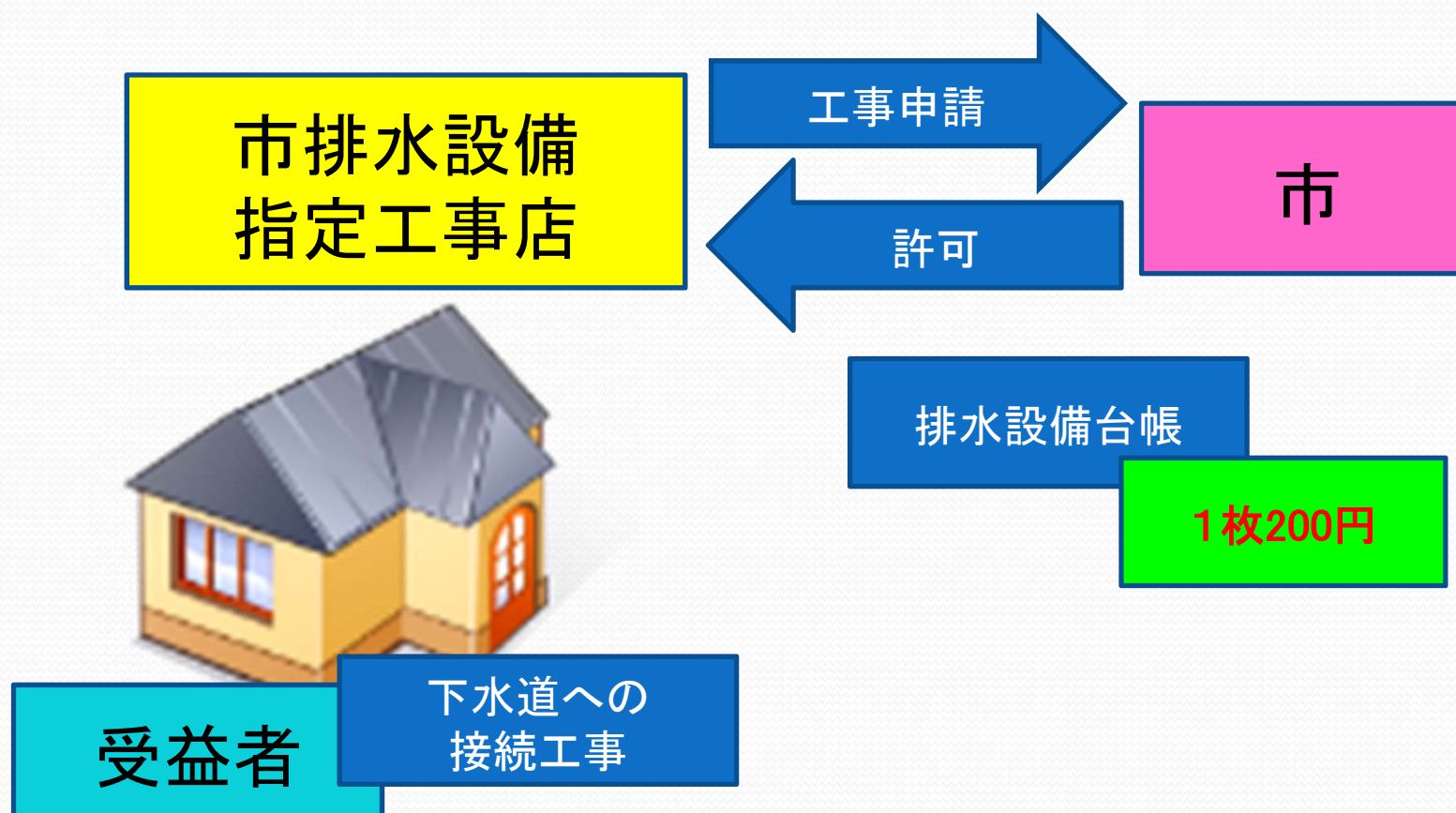
事務局案

8. 排水設備指定工事店の指定申請の有料化



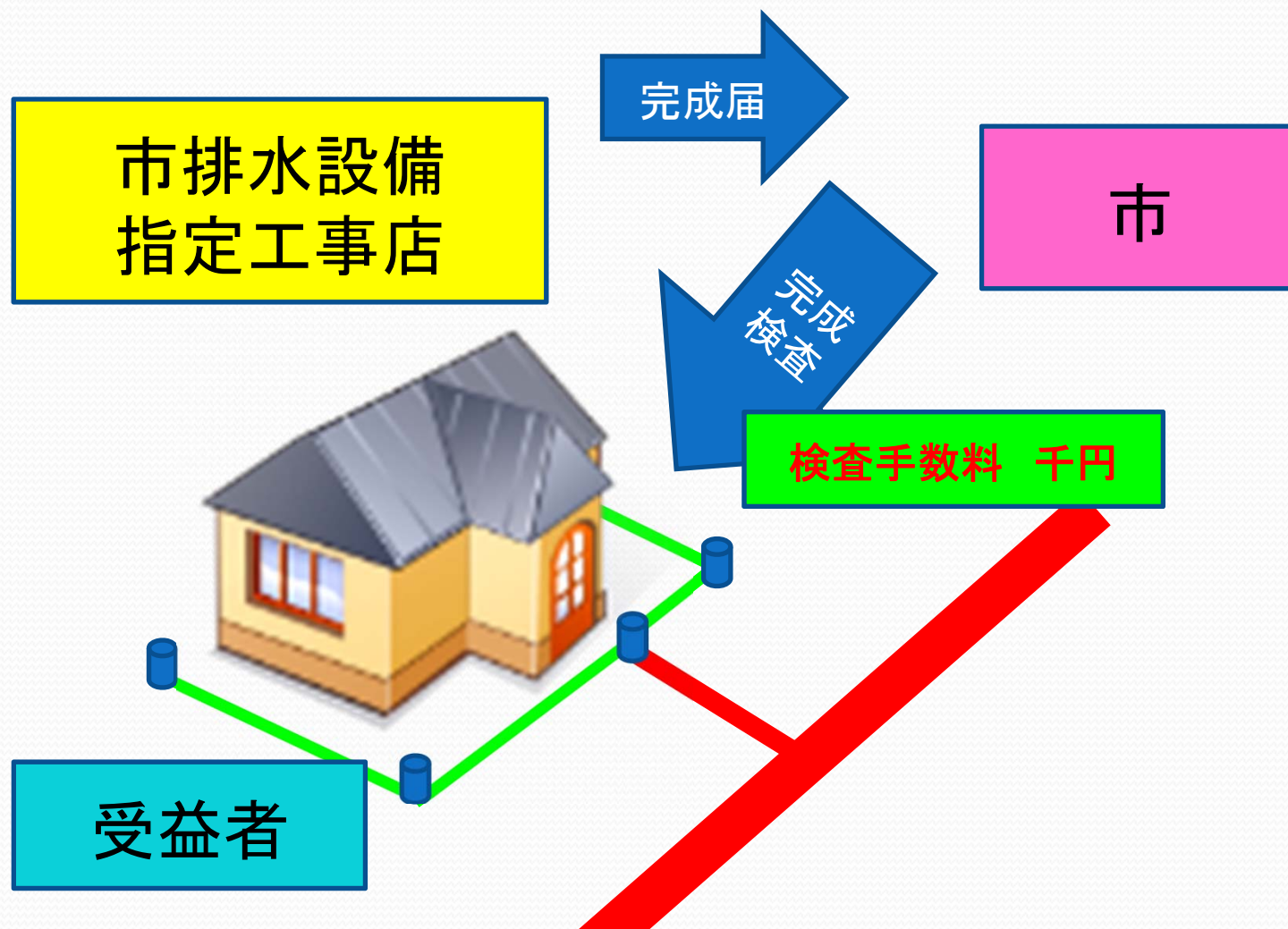
事務局案

9. 排水設備台帳の有料化



事務局案

10. 排水設備完成検査の有料化



収入増と歳出減への提案

事務局案で2億5千5百44万円の増収

不足総額は、4億4千9百万円



約2億円の不足



2億円 ÷ 16,000件 ÷ 12月 ÷ 千円



1件あたり 月額2千円の値上げが必要

